

矢板市立矢板中学校

矢中の新レジエンドに向けて

校長 五味 俊夫

(二十学級 五百八十四名)

一 はじめに

本校は、県東北部に位置し、宇都宮市から約三十二キロメートル、東京から約百三十八キロメートルのところにある中学校です。JR宇都宮線の駅や国道四号線、東北自動車道矢板インターチェンジもあり、利便性の高い地域の学校でもあります。

二 教育目標に向かうMISSIONは

[Happiness]

昨年の四月、私が着任早々提示したのが、「Happinessな矢中の創世」でした。

一昨年度末の「学校評価」結果から、矢中は地域から見て生徒への期待や関心、注目度が高いことで、生徒指導面には厳しい評価をいただいています。この悪いイメージの一新をねらい作成した奇策(?)が現在のグラウンド・デザインでした。

ともあれこの経営構想が、次第に生徒たち自身にプラス変容が、保護者や地域での矢中

イメージも変えうる力になってきています。今年度は「MISSIONを「Happiness」と「EVOLUTION(進化)」として生徒とともに歩んでいます。

三 MISSION遂行のための具体例

本校、学校目標に向かうMISSION遂行のための具体策を二点紹介いたします。

「総スタッフ制」と「キーパーソン」

「総スタッフ制」とは、

全生徒、全職員、全保護者のすべてが矢中作りの「スタッフ」であるという考え方です。

MISSION推進の

キーパーソンは、「生徒会」と「三学年」と

して強い自覚を促しました。結果として、「生徒会」の執行部生徒や専門委員会委員長、学級委員長などが中心となり、「Happinessな矢中作り」のために自主的、積極的、創造的に活動が展開されています。

特に、本校では地域に出た「ボランティア活動」を積極的に行っています。なお、それらの活動については、学校HPの「ブログ」で日々紹介しています。

「学びの共同体」学び合い学習の推進

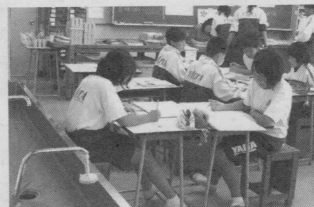


運動会 校長あいさつ

「学びの共同体」は、学習院大学の佐藤学教授が提唱している教授法や考え方を今年度から試行しています。

机配置をコの字(半円形)に変更し、あらゆる教科で、すべての時間でグループでの学び合いを展開するようにしています。この「学び合い学習」を通して、

個々の学習に対する関心・意欲の向上が表われ、全国(県)「学習状況調査」の結果が僅かながら伸びが見られました。また、生徒指導面や学級で行う「コンテスト」の結果でも良い方向性が見られます。



学び合い学習風景

四 おわりに

奇策とも思える「Happiness」をMISSIONに掲げ、今までに例のない学校構想をして二年を迎えました。今後、現在の教育活動をどのように進化させていくのか、生徒も含めた「スタッフ」で協議、検討していこうと考えています。



生徒会 あいさつ運動